

大学通信 帝塚山

Tezukayama

University Letter
2014.7.25

No.35

帝塚山大学公式イメージキャラクター
「てじかっきー」



特集

Special Feature

2014年、帝塚山大学は創立50周年
大学創立50周年記念事業プロジェクト



- | | | | |
|----|------------|----|-----------------|
| 6 | キャンパスレポート | 15 | クローズアップニュース |
| 10 | 研究室訪問 | 16 | 帝塚山 NEWS&TOPICS |
| 12 | クラブ・サークル活動 | 18 | お知らせ・イベントニュース |
| 14 | 卒業生紹介 | | |



帝塚山大学の歩み

- 1964 帝塚山大学開学
教養学部 教養学科 設置
- 1982 帝塚山考古学研究所 設置
(1997年～帝塚山大学考古学研究所)
- 1987 経済学部 経済学科 設置
- 1991 大学院 経済学研究科(修士課程) 設置
- 1992 経済経営研究所 設置
帝塚山学園芸術文化研究所 設置
(2000年～帝塚山大学芸術文化研究所)
(2006年～帝塚山大学奈良学総合文化研究所)
帝塚山学園人間環境科学研究所 設置
(2000年～帝塚山大学人間環境科学研究所)
- 1993 経済学部 経営情報学科 設置
大学院 経済学研究科(博士後期課程) 設置
- 1996 大学院 人文科学研究科(修士課程) 設置
- 1997 法政策学部 法政策学科 設置
- 1998 経営情報学部 経営情報学科 設置
大学院 人文科学研究科(博士後期課程) 設置
- 1999 教養学部を人文科学部に改組し、人文科学部 日本文化学科・英語文化学科・人間文化学科 設置
- 2001 大学院 法政策研究科(修士課程) 設置
- 2003 大学院 法政策研究科(博士後期課程) 設置
- 2004 人文科学部 人間文化学科および短期大学部を改組し、心理福祉学部 心理学科・地域福祉学部 現代生活学部 食物栄養学科・居住空間デザイン学科 設置
帝塚山大学附属博物館 設置
- 2005 こころのケアセンター 設置
- 2006 法政策学部 法政策学科を改組し、ビジネス法学科・公共政策学科 設置
現代生活学部 食物栄養学科 管理栄養士養成課程 設置
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程) 設置
- 2009 現代生活学部 こども学科 設置
人文科学部を人文学部に、英語文化学科を英語コミュニケーション学科に名称変更
- 2010 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科を改組し、法学部 法学科 設置
- 2011 心理福祉学部を心理学部に名称変更
- 2012 経営情報学部 経営情報学科を経営学部 経営学科に名称変更
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程)を改組し、大学院 心理学研究科 心理科学専攻(博士前期課程・博士後期課程) 設置
- 2014 帝塚山大学 創立50周年
人文学部を文学部に名称変更
人文学部 英語コミュニケーション学科を改組し、文化創造学科 設置



岩井 洋 学長

後「女子教育の帝塚山」という名声を博するまでにになりました。87年には、時代の要請に応え、国際社会で活躍できる経済人の

育成を目指す経済学部の設置とともに男女共学へと移行しました。その後、学部学科増設等を経て、開学時に1学部1学科、わずか108人の新生を迎えてスタートした本学は、現在、6学部10学科、4研究科、在学生3779人を擁する総合大学へと発展しました。

今も「伝統と革新」をキーワードとして、さらに次の50年に向けた改革を次々と進めております。今年4月に開設した文化創造学科では、奈良の大学であることを再認識し、その象徴として「奈良まるごとキャンパス構想」を打ち出しました。奈良の歴史や伝統文化、地域の方々の胸を借りて教育の力に変え、得られた教育成果を地域社会に還元したいと願っております。また、来年度から経済・経営・法の3学部で「新ソーシヤルサイエンス教育」がスタートします。1年次は学部の垣根を越えて3学部の基礎知識を共通プログラムとし、幅広い知識を修得するとともに学部の特徴を理解します。そのうえで2年次以降

に各学部専門の学びに分かれることから、幅広い知識を身につけながら学部専門知識を修得し、複雑な現代社会が求める優れた人材の輩出を目指す学修メソッドが誕生します。このように、帝塚山大学の進化は止まるところを知りません。帝塚山大学は開学50周年を迎えるにあたって、森磯吉初代学長の言葉をいま深く噛みしめております。「子は学園の宝」であり、学生は「大学の宝」です。とはいえ、その宝も磨かれてはじめて「本物の宝」となります。元より教育力の強さでは定評のあった本学ですが、近年、プロジェクト型学習が次々と成果を発揮し、在学中に学生一人ひとりの資質を大きく伸ばすという「大化け教育」が実現できております。64年の開学以来一人ひとりの個性を尊重しながら、人間的に大きく成長できるように人間教育に力を注いできました。次の50年に向けて、「地域に愛される大学」を目指すべく、一層の努力を続ける所存です。今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1964年4月、東京オリンピック開催の年、帝塚山大学は「教養学部教養学科」のみの女子教育を行う単科大学として、奈良市帝塚山(当時の三碓)の地に開学しました。開学当時の森磯吉学園長(初代学長)は、国際的な広い視野を持ち、真の日本人としての自覚と日本文化に対する深い見識を持つ人間育成を目標とした教養学部の設立を熱望し、理事会をはじめ多くの協力者の努力が実り、わずか1年足らずの準備の後に開学に至りました。当時、教養学部を持つ大学は、東京大学をはじめ数少なく、「真の教養を備えた女子の教育」を目指す本学の理念と構想は、世間から大きな賞賛をもって受け止められ、その後「女子教育の帝塚山」という名声を博するまでにになりました。

今も「伝統と革新」をキーワードとして、さらに次の50年に向けた改革を次々と進めております。今年4月に開設した文化創造学科では、奈良の大学であることを再認識し、その象徴として「奈良まるごとキャンパス構想」を打ち出しました。奈良の歴史や伝統文化、地域の方々の胸を借りて教育の力に変え、得られた教育成果を地域社会に還元したいと願っております。また、来年度から経済・経営・法の3学部で「新ソーシヤルサイエンス教育」がスタートします。1年次は学部の垣根を越えて3学部の基礎知識を共通プログラムとし、幅広い知識を修得するとともに学部の特徴を理解します。そのうえで2年次以降

に各学部専門の学びに分かれることから、幅広い知識を身につけながら学部専門知識を修得し、複雑な現代社会が求める優れた人材の輩出を目指す学修メソッドが誕生します。このように、帝塚山大学の進化は止まるところを知りません。帝塚山大学は開学50周年を迎えるにあたって、森磯吉初代学長の言葉をいま深く噛みしめております。「子は学園の宝」であり、学生は「大学の宝」です。とはいえ、その宝も磨かれてはじめて「本物の宝」となります。元より教育力の強さでは定評のあった本学ですが、近年、プロジェクト型学習が次々と成果を発揮し、在学中に学生一人ひとりの資質を大きく伸ばすという「大化け教育」が実現できております。64年の開学以来一人ひとりの個性を尊重しながら、人間的に大きく成長できるように人間教育に力を注いできました。次の50年に向けて、「地域に愛される大学」を目指すべく、一層の努力を続ける所存です。今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



これまでの50年の財産をこれからの50年の発展に。あらためて本学にあたえられた使命を自覚し、もっと地域に愛される大学をめざします。

子供や若い人達は学園の宝

わが帝塚山学園にある、人間の発育段階に応ずる教育機関のすべては、根本理念として「人間性を養う」「よい人間をつくる」「よい人柄をつくる」「よい品性を培う」を標榜する。

宝は磨かれて、真の宝としてあらねばならぬ。学校は、学生・生徒・児童・幼児の主体性が存分に発揮できるように、あらゆる努力を尽すべきである。よい先生に集まって戴くのも、建物や設備をよくするのも、客体を究めることを促進する環境を整える為である。

主体の身体性・個性・自発性・能動性・実践性の高揚をおもんばかって、死力を尽す次第である。

森磯吉遺稿集より抜粋



森 磯吉 初代学長



第一期入学式の様子



開学当時の旧1号館と2号館

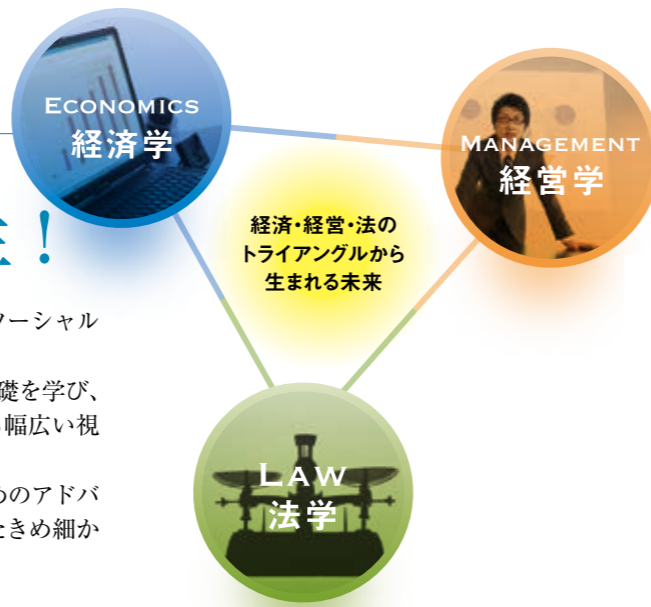
NEW SOCIAL SCIENCE !

新ソーシャルサイエンス誕生！

2015年4月から、経済・経営・法の3学部が生まれ変わり、新しい「ソーシャルサイエンス（社会科学）教育」がスタートします。

1年次に、大学で初めて学ぶ経済学・経営学・法学の社会科学3分野の基礎を学び、2年次からそれぞれの専門を深めるカリキュラムで、社会で求められる幅広い視野を身につけます。

また、充実したキャリアプログラムや、より「高み」をめざす学生のためのアドバンスプログラムで、学生の成長やそれぞれのめざす将来の進路に応じたきめ細かな教育を行い、学生一人ひとりの可能性を伸ばします。



身につく3つの力

ソーシャルサイエンス（社会科学）は私たちが暮らす社会のあらゆる知恵や現象が研究対象です。社会で起きるさまざまな問題の解決に向けて具体的な政策や改革案を提示する力を身につけます。

行動する力

リーダーシップ、論理的な思考と行動力の養成

協働する力

コミュニケーション能力、ファシリテーション能力の養成

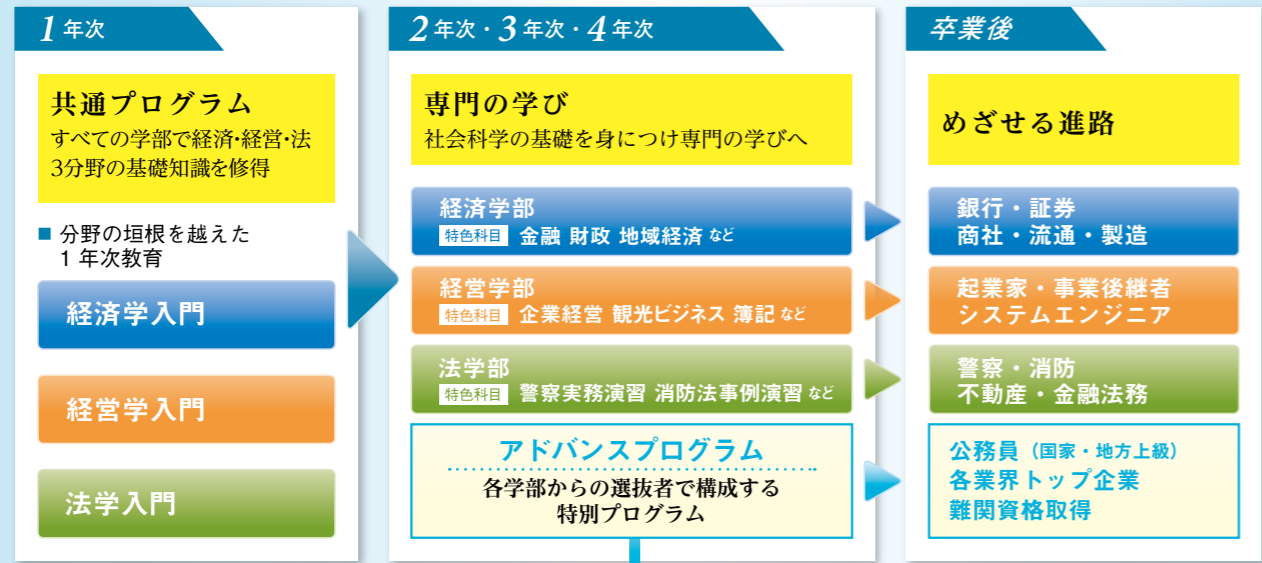
表現する力

文章表現力、プレゼンテーション能力の養成

経済・経営・法 3 分野の基礎を学んでそれぞれの専門へ

必ず見つかる自分の進路！

■ 経済学部・経営学部・法学部 4年間の全体イメージ



5大特典

- 1 専用学習スペースを設置
- 2 最新のタブレットPCを無償提供
- 3 資格取得講座、特別資格サポート制度の受講料免除
- 4 専任教員の配置
- 5 キャリア特別講座を開講

さらなる学びの追究のため 1年次教育で社会科学系統全般を学んだ結果、望む進路のために必要な専門知識が、入学した学部以外の専門分野とわかった場合に、一定条件のもと他学部他学科へ転学することができます。総合大学である帝塚山大学だからこそこの制度です。

特集 Special Feature 1 大学創立50周年記念事業プロジェクト

平成26年度は大学創立50周年を祝福する各種プロジェクト企画が行われています。創立50周年にちなんだプロジェクトの一部を誌上で紹介いたします。

1 自校教育リーフレット「帝塚山大学50年の歩み」を新入生に配布

新入生（50期生）にオリエンテーションで配付された「50年の歩み」を活用し、「日本初の女子大教養学部開学」「念願の男女共学化と学部増設」「県内最大の学生数を誇る総合大学に発展」と、大学の歴史や特徴を説明しました。リーフレット「帝塚山大学50年の歩み」は歴史館や図書館に設置しています。



2 「50名の食事代実質タダ！抽選会」を両キャンパス食堂で実施



大学創立50周年を盛り上げる食堂とのコラボ企画。5月15日・16日に食堂を利用した学生先着250名に抽選券を配り、抽選会を5月20日・21日は奈良・東生駒キャンパスで、5月22日・23日は奈良・学園前キャンパスで実施しました。当選者には食堂で利用できる500円のお食事券をプレゼントしました。学生達に好評だったこともあり、後期にも抽選会を実施する予定です。

3 食物栄養学科の学生が考案した特別ランチを販売

大学創立50周年を盛り上げる学生と食堂とのコラボ企画。食物栄養学科の学生が考案したメニューの特別ランチが7月に食堂で販売されました。学生達がアイデアを練り上げた3種類の特別ランチは、両キャンパスで週替わりメニューとして学生や教職員にも大好評でした。



4 大学創立50周年記念メッセージボードの設置



大学創立50周年を記念して、奈良・東生駒と奈良・学園前の両キャンパスにメッセージボードを設置しました。学長や副学長、学部長などの教職員をはじめ、在学生や同窓生からも大学への応援メッセージや自分の夢や目標を書いたメッセージボードを持って記念撮影。それをメッセージボードとして学内に設置しています。
設置場所：奈良・東生駒キャンパス3号館1階総務課前
奈良・学園前キャンパス16号館2階キャリアセンター前

5 現在進行形のプロジェクト企画

- 1 文化創造学科1年生による「るるぶ特別編集 帝塚山大学」制作
大学の情報と大学周辺のお店を紹介する「るるぶ特別編集 帝塚山大学」を文化創造学科1年生が製作準備を進めています。現在は掲載するお店等に学生が取材をしています。10月4日に実施される大学創立50周年記念式典で配布する予定です。
- 2 大学創立50周年記念グッズ（ステーションナリー等）の制作
- 3 恩師×学部学科卒業生×在学生鼎談として、創る・教える・学ぶことへの想いを語る。
- 4 「同窓生50×在学生50」プロジェクトとして、社会で活躍する同窓生と在学生が「職業・仕事・働き方」をテーマに世代を越えた交流を促進する。
- 5 在学生×同窓生懸賞論文コンテストとして、帝塚山大学への想いをテーマに表現する。



「るるぶ特別編集 帝塚山大学」取材中の学生

引き続き学生や教職員だけでなく、保護者や同窓生、地域の方々が参加できるプロジェクトを進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

06 現代生活学部 居住空間デザイン学科 「あさごアートコンペティション」大賞作品完成

兵庫県朝来市・あさご芸術の森美術館による2013年度の公募展「第2回あさごアートコンペティション」で、大賞を受賞した安井健二ゼミの「Seven Friends」が国道312号線からあさご芸術の森美術館へ向かう道沿いに展示されています。作品は京都にある工房の協力を得てFRPで制作され、3月20日の現地での設置作業を経て、4月から展示されています。模型の制作・応募から設置まで8か月、学生たちの地道な作業がやっと結実しました。



01 文学部 日本文学文化学科 「薪御能」にむけた事前講座&ワークショップを開催

5月13日(火)、薪御能保存会副会長の石原昌和氏、能楽師の佐藤俊之氏(金春流)、井戸良祐氏(観世流)を講師として、興福寺で行われる奈良の伝統行事「薪御能」にむけた事前講座&ワークショップを開催しました。1年生全員と上級生が参加し、今年の演目を取り上げ、その一部を実演していただきました。学生が実際の能の装束を身につける試みもあり、一番の盛り上がりはここでした。



07 現代生活学部 食物栄養学科 第2回 高知医療センターとの教育連携による市民講座



4月27日に、堀見忠司先生(高知医療センター名誉院長)を講師にお招きし、「新しい医療の誕生～西洋医学と東洋医学の融合～」というテーマで市民講座が開催されました。

西洋医学と東洋医学の違い、漢方薬の歴史、漢方薬の処方については具体的な事例が紹介されました。

また、漢方薬は、保険適応がなされており、安価で即効性があること、作用機序は不明なものが多いが、副作用が少ないなど、改めて漢方薬の良さを再認識する内容でした。聴講者からも多くの質問があり、有意義な講座として終えることができました。

08 現代生活学部 こども学科 18号館の展示スペースが充実

こども学科の授業が行われる18号館では、この春、壁面に掲示用レールを設置し、展示スペースの充実を図りました。子どもに関する学術情報や就職関連情報など、こども学科の学生たちに有益な情報を今まで以上に提供していきたいと考えています。初回の掲示は今年の2月に行われたこども学科2期生の卒業研究発表です。1年生は興味津々で、4年生は卒業研究の参考にするため、足を止めて見入っています。



02 文学部 文化創造学科 講演会「一緒に体験しませんか? 地域で新しい文化を創ること」を開催



4月25日(土)、本学科開設記念イベントとして上記講演会を奈良・学園前キャンパスにて開催しました。まず村田武一郎 本学科教授より「地域の将来と文化遺産」と題された講演があり、その後、本学科1年生7名が登壇し、「文化創造学科で学びたいこと・文化創造学科への期待」というテーマで、村田教授と対談しました。

入学式から1か月もたないこの時期に、多くのオーディエンスの前で話をすること自体が学生たちにとって大変な緊張を伴うものであったはずですが、学生たちの受け答えは堂々としたものでした。

03 文学部 英語コミュニケーション学科 「英語文化共同研究室」を設置

英語コミュニケーション学科では、1号館3階に、学科の学生や先生が共同で利用できる「英語文化共同研究室」を設置しています。

ここでは、TOEICなど資格対策の問題集や、洋書(ページ数が少なく、読みやすいものを多数所蔵)、洋画等のDVD教材(学内での視聴専用)などが備えられており、これらを使用して学生達が自主学習に取り組んでいます。

また、学生同士や先生との交流の場として、日本語、英語での様々なコミュニケーションが展開しており、刺激的な空間となっています。GW明けからは、「The Japan Times」と「International New York Times」という2種類の英字新聞が届くようになりました。さらに多くの学生の皆さんに気軽に利用していただき、自己研鑽に励んでもらえればと思います。



09 法学部 法学科 帝塚山大学創立50周年記念・法学部完成年度記念特別講演会

2月22日(土)に、原山進(前)奈良県警察本部長を特別講師にお招きし、「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現に向けて～警察官として歩んだ人生～」というテーマで御講演いただきました。警察官一筋の人生を歩んでこられた原山(前)本部長は、数々の著名な事件に関わったほか、「正・強・仁・信」を信念に、県民に寄り添う諸政策(メロディパトロールなど)を実施してきました。

昨年度は、法学部との連携講座「警察組織と警察実務」の効果もあり、奈良県警察を受験した法学部生の合格率は100%を達成。また今春に奈良県警察学校へ入校した70名のうち、7名が帝塚山大学出身者(大学別では2番目に多い)と大健闘しました。



10 心理学部 心理学科 授業でも上級生がサポート

授業が専門的になると内容も難しくなり、限られた時間(授業)の中で全ての学生に理解してもらうのは、先生にとってもなかなか大変です。そこで心理学科では、下級生の授業に上級生が入り、勉強をサポートする試みを行っています。効果は上々で、下級生は授業についていけないという心配もなくなり、先生も安心して授業を進めることができます。さらに、上級生・下級生・先生の絆も深まり、アットホームな雰囲気も広がっています。



04 経済学部 経済学科 合同学外研修を実施

5月31日、1年生全員を対象に合同学外研修の一環として、アジアトレードセンター(ATC)にある「おおさかATCグリーンエコプラザ」、「ATCエイジレスセンター」、「大阪市消費者生活センター」と「大阪市環境局舞洲工場」の見学に行きました。ATCエイジレスセンターでは、車いすの操作体験、電動車いすの試乗体験、装具による高齢者疑似体験など、参加した学生たちは体験を通して年齢やハンディを乗り越えるために開発された介護機器の機能と快適性を学ぶことができました。今回の見学では幅広いテーマを対象としましたが、見学終了時には学生の表情は充実感に満たされ、結果として1年生にとっては貴重な体験になりました。



05 経営学部 経営学科 奈良観光アプリを今年度内にリリース予定

平成26年度内に、帝塚山大学が奈良県と共同で制作に取り組んでいる観光アプリがリリースされる予定です。奈良観光アプリ制作「Meet 20's 絆プロジェクト」は、奈良県が公募した「県内大学生がつくる奈良の未来事業」の公開審査で優秀賞に選ばれました。3年間の事業予定で、昨年度・今年度の2年間は県と共同で若者向けキャラクターの制作と観光アプリの開発を進めています。20代の若者に向けて、彼らと同年代の大学生が携帯型端末を通して奈良の観光情報を発信することが、このプロジェクトのポイントとなっています。アプリには、由緒あるお寺の一人息子・宿禰(すくね)といつも身体にデジタル機器を装着しているデジタルネイティブ少年・道師(みちのし)の2人のキャラクターが登場し、信貴山駒付近の社寺を紹介する予定です。アプリの予告チラシとして、キャラクターが登場する「歴史探案! 信貴山駒付縁起絵巻」が作成・配布されました。



七月に営む「盆」の起源は、一般には仏教説話から説かれていて、仏教の色彩が極めて濃厚であるが、本来は仏説とは関係なく、初秋望月（十五夜の満月）の日を中心とする先祖の精霊迎いの儀礼で、あくまでもわが国固有の習俗であった。もとは一年を二期に分けて、盆と正月とともにその折目の初めのときとして、先祖の霊を迎えて生活の繁栄を祈り祝ったのであった。

ところで、死んでも祭る人のいない「無縁仏」や、事故や災害にあつて死に、成仏できない「餓鬼」は、人

「民俗」よもやま噺し



均整唐草文とは奈良時代の文様の主流を占めるもので、文様の中央に飾りを配し、

今回紹介する資料は、平城宮で使用された軒平瓦です。軒平瓦とは、軒先に葺かれ、先端に文様部を持つ瓦です。日本最古の軒平瓦は、法隆寺若草伽藍（奈良県斑鳩町）と坂田寺跡（奈良県明日香村）出土の手彫りの忍冬文を文様部に飾ったものです。

大学院所蔵 資料紹介

平城宮所用 均整唐草文軒平瓦

左右から蔓状の曲線文様が左右対称に展開します。周囲には丸い点を連続的に配置した珠文や三角形を連続的に配置した鋸歯文などが施されています。本資料の中心飾りは三葉のバルメットが相對した花頭文という文様で、周囲は珠文で囲まれており、左右三回反転のものです。奈良時代の均整唐草文の多くが三回反転ですが、その他に四回反転、五回反転のものもあります。本資料は、天平十七年（七四五）の平城遷都から長岡京に遷都（七八四）

に災害をもたらす特に危険な存在なので、丁寧に祭られる、「施餓鬼供養」である。無縁仏や餓鬼を祭るには、「餓鬼棚」という特別の盆棚を作る。

奈良県では、莫塵で樽のように周りを巻いて、笠で覆いをした棚を作る。また、篩や小型の籠に蓮の葉を敷き、経木を立てて茄子、胡瓜、お茶を供える。餓鬼棚は一般に

盆・施餓鬼供養

帝塚山大学名誉教授（元・帝塚山大学学長）
国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士
岩井 宏實



篩（小型籠）に経木を立て、供物一切を納めて井戸傍に供える餓鬼棚

するまでの大極殿である第二次大極殿に葺かれたものです。第二次大極殿は現在復元されている第一次大極殿より一回り小さく、場所は第一次大極殿があった中央区ではなく、壬生門のあった東区に建てられていました。現在は基壇が復元されています。

大極殿は古代宮都における中心施設で、天皇の即位や元日朝賀などの重要な行事の場所でした。この瓦も、大極殿の屋根から重要な行事を眺めていたことでしょう。

帝塚山大学大学院人文科学研究科
博士前期課程2年（古代史）
上野 真奈



11 法政策研究科 世界経済法制専攻 2名が博士の学位を取得!

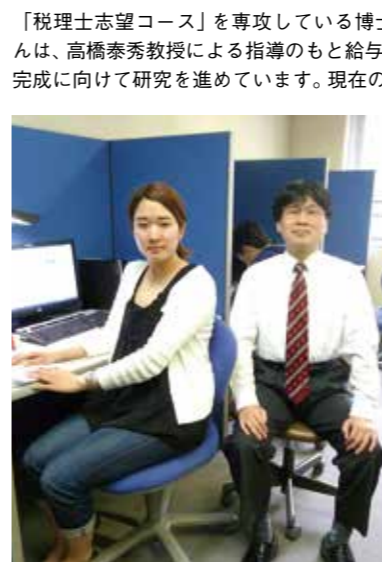
3月25日、グランキューブ大阪（大阪国際会議場）にて、第47回帝塚山大学卒業式・第22回帝塚山大学大学院修了式が挙行政され、岩井学長から法政策研究科世界経済法制専攻の道中隆さん（テーマ：「生活困難層における社会的不利益の世代的連鎖に関する研究」）とハン・セイウンさん（テーマ：「台湾における国際商事仲裁をめぐる国際私法上の諸問題」）に博士の学位記が授与されました。

12 心理学研究科 心理学専攻 入試説明会・学術イベントを開催

帝塚山大学大学院心理学研究科入試説明会・学術イベント（メインテーマ「幸せを感じる心理学」）が5月18日（日）10時から開催されました。神澤学部長による開会の辞のあとで、昨年度の修士論文12題と第80回日本応用心理学会で発表賞を受賞した3題の研究ポスターの前に各担当者が立ち、参加者と交流をする時間をもちました。10時半からは心理学研究科の中地准教授と谷口准教授がそれぞれ「出会いの心理学」「恋愛心理学」というテーマでミニレクチャーを行い、その後、大学院担当教員がそれぞれの研究領域などを紹介しました。12時半からのバケット・パーティ（協力：青葉仁会、現代生活学部有志）では、軽い食事をとりながら楽しい会話が弾みました。最後の蓮花副学長の閉会の辞のあとで、大学院生によるキャンパス見学ツアーを行い、解散となりました。この形式での入試説明会・学術イベントの開催は今回が初めてでしたが、参加者との距離も縮まり、頭とおなかの両方に響く有意義な時間になりました。



13 経済学研究科 経済学専攻 税理士をめざす! 高橋ゼミにクローズアップ



大学院生の堀内 文倫さん、指導教員の高橋 泰秀教授

「税理士志望コース」を専攻している博士前期課程2年の堀内文倫さんは、高橋泰秀教授による指導のもと給与所得控除をテーマに修士論文完成に向けて研究を進めています。現在の研究状況について伺うと、堀内さんは「今は、理論的考察から最適な給与所得控除関数を導き、その関数に基づいてパラメータの一つである業種間の所得捕捉率の推計を行っています」と具体的に教えてくれました。堀内さんのご実家は税理士事務所を営んでおり、将来は堀内さんも税理士の資格を取り、跡を継ぎたいと語ってくれました。

14 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 コースワークの充実を図る



人文科学研究科では、院生に対する「学際的視野の育成」を実質的に強化することを目的として、複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークの充実を図っています。その一つ「日本伝統文化特論」は各分野の専任教員が2〜3コマずつ担当し、専門領域における研究法はもとより、現在の研究動向、基本的文献の提示・読解等をおこなっています。院生が自らの研究分野以外の諸学に触れることによって、学際的視野が広がることを期待しています。

本学教員の執筆図書を紹介

- Introducing Teacher Research Books
- 赤田 光男 (元文学部 教授)
中世大和の仏教民俗信仰
帝塚山大学出版会 ¥9,180
 - 赤田 光男(元文学部 教授)
高田 照世(文学部 准教授) 分担執筆
京丹後市の民俗
京丹後市
 - 恵阪 悟 (文学部 講師) 分担執筆
歌、舞、物語の豊かな世界
幻冬舎 ¥2,700



- 川口 洋 (経営学部 教授) 分担執筆
Environmental History in East Asia
Interdisciplinary perspectives
Routledge; New. 版
洋書のため参考価格: ¥ 16,141
- 記念誌編集委員会 編集
地域福祉
一帝塚山大学地域福祉学科 10年一
帝塚山大学出版会 ¥1,296
- 源城 政好 (文学部 教授) 分担執筆
近江八幡の歴史 第六巻
近江八幡市

- 小谷 早稚江 (文学部 准教授) 分担執筆
生成文法の軌跡と展望
金星堂 ¥2,700
- 清水 婦久子 (文学部 教授)
源氏物語の巻名と和歌物語生成論へ
和泉書院 ¥10,260
- 高瀬 宜士 (経営学部 教授) 分担執筆
経営工学の事典
朝倉書店 ¥8,856
- 飛世 昭裕 (法学部 教授) 訳
ヨーロッパ史のなかの裁判事例
ミネルヴァ書房 ¥6,480

(著者名50音順)



帝塚山大学所蔵の役者絵

を目指すように、指導していま... そうした訓練を通して、日常生... 自分本位な見方から... 他者の立場に寄り... 添った理解ができるようになる... ではないかと考えています。

今後の研究の方向性や抱負についてお教えください。江戸の古浄瑠璃の絵看板ではないかと推定されている屏風について、考証しています。今春には、描かれている演目のテキストをイメール大... 調査に行きました。

文献の書誌調査や内容の読解、上演記録の分析や絵画資料の考証というように、複数の観点から研究を進めていきたいと考えています。日本文化学科では、歴史や美術、文学など、各専門分野の先生方に意見をいただ... ながら研究を進めることができますので、とても恵まれた研究環境だと思... 視野を広げることが自分の研究の力になっていて、環境を感じています。

授業では、本学所蔵の役者絵を使ったキャプションコンテストや、ビデオバトル(書評ゲーム)、展示プロジェクトなど、学生が自分で表現する機会をさらに増やしていきたいです。プレゼンやコミュニケーションの力を楽しみながら高めていくことができればと考えています。

ゼミでは学生たちにどの様な取り組みをさせているのか、お教えください。

毎回、全員に発言の機会を設けて



Office Introduction 研究室訪問

文学部/日本文化学科 鈴木研究室

先生のご専門と研究のいきさつについてお教えください。

私の専門は日本近世文学です。江戸時代の人形浄瑠璃や歌舞伎といった演劇を中心に研究しています。もともと古典文学が好きで、専門的に勉強したいという想いから文学部国文学科に進学しました。大学で、作品を主観で読むのではなく、用例を集め、資料を調べて、できるだけその作品が生み出された当時の状況に沿った理解を目指す、という研究方法を知りました。百、千と調べていく中で、稀に一つの有効な情報との出会いによって、やっと何か少しわかってくる、という研究の厳しさや奥深さに魅力を感じるようになりました。

ターニングポイントになったのは、大学院後期博士課程のときに参加した研究会です。国文学研究資料館の武井協三教授が主催され、江戸時代の文芸、演劇、儀礼、食文化などの研究者が集まって、「弘前藩庁日記」を読むという共同研究でした。それぞれの分野の専門家の知識を結集することで、弘前藩の江戸屋敷での日常が浮かび上がってきました。毎回とても楽しく、ワクワクしたのを覚えています。この研究会をきっかけに、私自身も文学という専門分野にとられない勇氣を持つことができ、大名家の文書調査に着手し、成果を挙げることにつながりました。

近世演劇のご研究をされていらっしゃるということですが、どのような研究でしょうか。

人形浄瑠璃や歌舞伎について、作品がどのような生み出され、上演されたのか、作者や演者とといった制作側の視点から考証していきます。当時の観客にどのような受け止められ、楽しまれていたのか、演劇の魅力を掘り起こして捉える研究です。私は特に元禄期から享保期の江戸における演劇を研究対象としています。この時期、大名家の江戸屋敷では人形浄瑠璃や歌舞伎が盛んに上演されていたため、藩政史料には上演についての記録が多数確認できます。これまでに、加賀藩や岡山藩、対馬藩の資料を調査し、上演記録を収集しました。これらの記録からは演者の動向や上演の実態について、豊富な情報が抽出できます。

鈴木先生にとって、その専門分野の魅力は何でしょうか。

複数の観点から分析することに

よって、演劇が上演されていた様子や楽しんでいた人々の姿までが生生きとイメージできる、というところだと思います。ときには、当時の人の想いに触れるような感覚を持つことがあり、豊かな気持ちになります。また、「こういう事例が出てくるのではないかと予想を立てて調査し、結果が得られたときには、格別の喜びがあります。

ゼミでの取り組み内容についてお教えください。

江戸時代の人形浄瑠璃や歌舞伎の作品を取り上げ、読解に取り組みむのではなく、できるだけ、作者や演者、観客などの立場に立った見方

日本近世文学を通して、当時の人の想いに触れる

文学部/日本文化学科 鈴木 博子 准教授 HIROKO SUZUKI

1997年、大阪市立大学文学部国語国文学科卒業、2004年、大阪市立大学大学院文学研究科国文学専攻後期博士課程修了、博士(文学)取得。2008年、歌舞伎学会奨励賞受賞。日本学術振興会特別研究員を経て、2011年4月、帝塚山大学文学部日本文化学科准教授として着任。



います。卒業研究のテーマは各自の関心に基づいて設定していますが、ゼミの仲間同士の質疑応答がヒントになります。他者の考えを尊重することが一つの習慣にもなるようです。テーマを決めて、それぞれに記事を分担してもらい、「ゼミ新聞」としてまとめることもしています。ゼミの文楽観劇後にまとめた号は、一年生が学外実習で文楽に行くときの資料としても使いました。

ともなかったのですが、打ち込めることや人との出会いに導かれて、いつの間にか、アメリカの大学で発表ができるようになっていました。恩師が「世の中に怖いことはそんなあらへんで」とおっしゃっていた意味を、今は実感しています。無理だと思っていることで、やってみると案外できるもので、たとえうまく



戦した分だけ、着実に自分の力や室になります。少しずつでいいので勇氣を持って、チャレンジしてほしいと思います。

最後に学生たちへメッセージをお願いします。

私は学生時代、飛行機に乗ったこ

The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



高田 茜さん (4年)

ゼミナールI・IIの授業で初めて体験したこと、また知ったことは何ですか。

日本の近世演劇を中心とした授業ですので、デスクワークだけではなく、ビデオ鑑賞はもちろん、歌舞伎や文楽を生で鑑賞することができました。そういう体験から、自分の目で直接物事を見ることの大切さを知ることができました。また、ゼミ新聞を制作するなど、グループで何かをすることが多い授業ですので、明るく和気藹々としています。

卒業論文に向けての取り組みを教えてください。

“歌舞伎に登場する女性”というキーワードから、固定された視点ではなく様々な視点から資料を探して、テーマを明確にしている段階です。歌舞伎には多彩な女性が登場するので、それぞれの魅力を引き出せるような論文にしたいと考えています。

鈴木ゼミで学んだこと(学問、人との繋がり両面から)を就職、進学でどのように活かそうと思っていますか。

歌舞伎や文楽は深い人間関係が描かれているので、学んでいくのはとても興味深く、新しい発見も多いです。授業の中でグループやペアを組んで課題に挑むことが多いので、協調性や説明能力を身につけることができました。また、作者と享受者の両方の視点に立って理解を深めていく中で、視野を広げることができました。これらのことは、これから社会に出ていく中で、大切なことだと思いますので、仕事をする中で磨き続けていけたらいいな、と思っています。

クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。学生たちの元気な姿をお届けします。

Pick up!
女子バレーボール部

全勝優勝で2部リーグへ昇格！個人賞も数多く受賞しました！

関西大学バレーボール連盟所属の女子バレーボール部は5月18日、春季リーグ戦(3部)を7戦全勝で終了し、見事2部への昇格を決めました！

最終戦となったこの日、本学体育館で姫路獨協大学との試合に挑み、第1セットは緊張からお互いに点を重ねあう攻防が見られたものの、第2セットからは幾度も連続得点を挙げるなど圧倒的な攻撃力で勝利し、今季は7戦負け知らずで見事頂点に輝きました。

(第1セット:25-15, 第2セット:25-8, 第3セット:25-9)

また、春季リーグ戦における優秀選手の発表があり、安谷屋名月さん(人文学部日本文化学科3年)が最優秀選手賞、およびスパイク賞、香川千晶さん(心理学部心理学科2年)がスパイク賞、八手幡みさきさん(心理学部心理学科1年)がセッター賞、奥野杏さん(文学部日本文化学科1年)が新人賞にそれぞれ選ばれ、個人成績でも多くの栄冠を手にするとなりました。

1年前にも春季リーグ戦を制して2部に昇格するも、上位の高い壁に阻まれ秋季リーグ戦で降格となってしまった経緯から、「もう決して同じ失敗を繰り返すことはできない」と、昨秋の雪辱を遂げるべくチーム一丸で次のステージでも挑戦を続けます。女子バレーボール部の活躍を是非ご期待ください！



奈良・東生駒 CAMPUS

Pick up!
硬式野球部

6季ぶりの1部リーグへ！悲願のリーグ昇格を決める

阪神大学野球連盟所属の硬式野球部は6月1日、1部・2部リーグ入替決定戦(対関西外国語大学)に挑み、5月31日に行われた第1戦(帝塚山4-0関西外大)に続いて5-4で連勝し、見事1部リーグ昇格を果たしました！

4回までに4点を先取するも関西外大の執拗な粘りに遭い、8回表には同点に追いつかれた帝塚山。8回裏に4番・有山がライトオーバーの三塁打を打ち一打勝ち越しのチャンスを作ったあと、7番・金崎がセンター前へ期待に応えるタイムリーヒット

を放って値千金の1点をもぎ取ることに成功。9回表は投手・松倉が終盤に活気づいてきていた関西外大打線をしっかり封じ込め、部員全員が胸に秘めていた1部リーグ復帰への悲願を6季ぶりに達成しました。

秋季からは強豪の集う1部リーグで戦うこととなりますが、取り返すのに3年もかかったこの座をもう他の大学に譲ることの無いよう、これからも日々の練習を重ねてまいります。今後も硬式野球部への応援のほど、よろしくお願いいたします！



奈良・東生駒 CAMPUS

大学祭
実行委員会

『虹色祭』の準備が進んでいます！

大学祭実行委員会は、名前の如く帝塚山大学大学祭『虹色祭』を一から自分たち手で作り上げていくことを中心に、他にも学生全員で楽しむことのできるイベントを年間通じて企画・運営しており、約60名で構成される実行委員は、日々とてもやり甲斐を感じながら活動しています。今年の『虹色祭』は、11月23日(日)・24日(月・祝)の2日間で行います。

今回は大学創立50周年という節目であり、記念すべき年の『虹色祭』を盛り上げるべく、例年よりも多くの来場者にお越しいただけるように、新たな企画を用意するほか、豪華お笑い芸人やアーティストのライブも予定しています。

こどもから大人までお越しいただいた全ての人が楽しめる『虹色祭』に、みなさんは是非お越しください！！



奈良・東生駒 CAMPUS

学園会

50万円寄付します

大学創立50周年を記念し、学園会メンバーが中心となって「東日本大震災被災地に50万円を寄付しよう」という活動を行っています。

東日本大震災から3年。震災という出来事をついつい過去のものと感じてしまいます。「それではいけない！あの出来事を風化させないよう、今できることをしよう！！」と学園会、あかね祭実行委員のメンバーが立ち上がりました。4月から時間を見つけて学内外で募金活動をおこないました。またあかね祭では、チャリティーバザー、野菜市、体験ブースなどの企画を考え、その売り上げは全額寄付するという形で活動してきました。皆で力をあわせて活動し集まった金額は、6月現在125,422円。日本赤十字社を通じて被災地に寄付させていただきました。

50万円を目標にこれからも活動を継続していく予定です。皆様のご協力をお待ちいたしております。



奈良・学園前 CAMPUS

てづか
Farm

たくさん収穫できました

毎日欠かさず水やりをしているサークルがあります。1年前にできたサークル、てづかFarmです。小学校の畑から畝をもらい、活動をスタートしました。この1年間、季節ごとにたくさんの野菜を収穫してきました。夏野菜(トマト・なすび・おくら・きゅうり・モロヘイヤ・バジル)、冬野菜(白菜・大根・ほうれんそう)、春野菜(ラディッシュ・小松菜)などなど。現在、おくら・とうもろこし・枝豆・ゴーヤ・ニンジン・サツマイモを作っています。夏野菜を収穫しパーベキューを開催。冬野菜を収穫し鍋パーティを開催。それが今年の目標とのことです。

この1年間たくさん学びがあったそうです。「野菜を作る難しさと大変さを学びました。それとともに野菜の大切さ、ありがたさも強く感じています。」てづかFarmの農園。収穫が楽しみです！



奈良・学園前 CAMPUS

華道部

花を愛でる空間♪

奈良・学園前キャンパスでは、火曜日と木曜日の週2回、華道部が活動しています。その華道部の作品が毎日鑑賞できるのを知っていますか？

キャリアセンター前、食堂、14号館学生ホール、16号館学生生活課前の4箇所に彼らの作品が設置されています。毎週、新しい作品を楽しむことができます。

作品を作るに際し、気遣っている点を聞いてみました。「花の命をもらって活かせてもらっています。そのため、花への愛情を大切にしています。活けるだけでなくできるだけ長くもたせるよう水やり・片付け等、その後の管理も気をつけています。華道って本当におもしろいです。自然では組み合わせることがないものを調和させることによって、新たに良いものが生まれる。未知の可能性を見出すことができるんです。」

学生生活と同じく、華道はたくさんの可能性に秘めているそうです。ふと立ち止まって、華道部の作品を見る時間をもってみてください。何か新しい気付きがあるかもしれませんよ。



奈良・学園前 CAMPUS

Close-up NEWS



1 奈良町でのフィールド・スタディ
2 橿原考古学研究所の見学
3 ふるさと元氣村での体験(切り絵)



文化創造学科がスタートしました!

2014年4月、文化創造学科が誕生し、29名の新入生諸君を迎えています。このような人材を養成するために、日本文化発祥の地として、永らく培われてきた精神文化や伝統文化が今もなお息づく奈良を、実践的な学びのフィールドとして捉え、地域社会と密に連携した体験型・実践型学習を重視する教育課程を編成しています。

本学科では、「奈良まるごとキャンパス」の名の下、豊かな文化的・歴史的資源が今に生き続ける奈良の地を帝塚山大学の学びのキャンパスとみなし、大学内での講義・演習のみならず、著名な寺院や神社と関係者から直接講義を受け、あるいは伝統産業・工芸・芸能の見学・実習などを通じて、1年次から体験・実践・省察を重視する少人数教育を行います。また、これらの学びとともに、アジアの歴史や文化を学ぶことによって、現代と未来の視点から日本の伝統文化に対する総合的な理解

を深め、国際的な文化交流などに向けて、自国の新しい文化を国内外に表現・発信することができるよう人材を養成してゆきます。

1年次必修専門科目である「奈良学A」「奈良学B」では、頻繁に学外での体験型学習を行い、それを通して学生たちは今後4年間にわたって重視されるフィールド学習・研究を行うための基礎的知識を学びます。本稿作成時期(2014年6月初旬)までに「奈良学A」のなかで奈良県立橿原考古学研究所附属博物館と明日香村の史跡群、宇陀市室生の「ふるさと元氣村」(廃校になった小学校跡地を活用した文化芸術活動体験交流施設)を訪問し、訪問先のご協力の下で体験型学習を実施しました。参加した学生たちは、伝統文化を自分の目で見て、手で触れ、体験しながら学ぶことの楽しさを実感したようで、終始笑顔があふれていました。

また、同じく1年次必修専門科目である「日本人の心」では、キャンパス内の和室を教室として活用し、実際に茶道、華道、着付けなどを体験しています。あわせてその意味や歴史などに関する講義を受けるなかで、「礼儀作法」、「身だしなみ」、「言葉づかい」などといった、社会常識として身につけておくべき事柄について学んでいます。この授業のなかですでに学生たちは「雛の節句茶会」や「日本家屋の出入りと挨拶・席入



「雛の節句茶会」



卒業生紹介

Introduce graduate

お仕事について教えてください。

大阪府の門真市役所に勤務し、現在は門真市教育委員会事務局で生涯学習に関する業務を担当しています。警察OBや地域住民による子どもの登下校を見守るボランティアの支援、PTA協議会と各小・中学校との連絡調整、児童を対象とした英語・理科講座の開催などに携わっています。

なぜ入職を決意したのですか?

市民の皆さんが安心・安全に生活できるような社会づくりに貢献したい、市民一人ひとりと深く関わり、それぞれに合った支援や対応をさせていただくことで個人が抱える問題を解決したいと考え、公務員を志望しました。また、門真市では市民からの意見を参考にして子育て支援の充実や地域通貨による地域活性化の取り組みを行っていることから、市民目線の政策を行っていると感じて、門真市を選びました。



須上 亜衣さん

心理福祉学部(現心理学部) 心理学科2011年3月卒業
門真市役所勤務
(門真市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課)



印象に残っている出来事はありますか。
団体の代表者の方と電話でやり取りをしていたとき、提出された書類の一部を修正して再提出していただくようお願いしたのですが、私が上手く説明できなかったため代表者の方を怒らせてしまいました。電話では相手の顔が見えないため、言葉遣いやニュアンスには一層気をつけなければならぬと反省しました。

日々の業務で工夫されていることはありますか。
電話や窓口で対応するときには、相手の方が何を求められているのかを正確に理解するように心がけています。相手の立場に立つて最後まで話を聞き、話の中から相手の方が抱えている想いをくみ取り、どんな対応をすべきか考えています。そうすることにより、市民の皆さんに寄り添った対応ができるのではない

かと思っています。今後は、門真市役所に来てよかった、相談してよかったと思っていたらいいなと考えるように、日々学んでいきたいと考えています。

大学時代の思い出 ~仲間~

私はイベントに携われることが好きで、地域の祭りやコンサートにボランティアスタッフとして参加させていただきました。同じようにスタッフとして参加した人達はほとんどが初対面でしたが、スタッフ同士が積極的にコミュニケーションをとることで、みんなが団結して活動することができました。大学4年間で様々なイベントに参加させていただき、多くの方々に関わることができ、とても良い経験ができたと思っています。



▼1日
第51回帝塚山大学入学式、第26回帝塚山大学大学院入学式を挙行
入学式は三部制で行われ、第一部で人文学部、経済学部、大学院人文科学研究科、大学院経済学研究科、第二部で経営学部、法学部、大学院法政策研究科を、第三部で心理学部、現代生活学部、大学院心理科学研究科の入学式を挙行し、新たな帝塚山ファミリーのメンバーを迎えました。



▼5日
保護者対象就職説明会を開催
奈良・東生駒キャンパスにて、3年生（2016年3月卒業予定者）の保護者を対象とした就職説明会を開催。今回の就職説明会には100名を超える保護者の方々が参加し、就職活動に対する関心の高さがうかがえました。



▼5日・21日
江木淳人さんが京都・南座の特別公演「源氏物語」に出演
人文科学研究科日本伝統文化専攻

博士後期課程の江木淳人さんが、京都・南座の特別公演「源氏物語」に出演。この舞台で江木さんは、約3メートルの造花を生けることで季節の移り変わりを見事に表現し、1200名もの大観衆の喝采を受けました。



▼7日・11日
学内合同企業説明会を開催
新4年生対象「学内合同企業説明会」を奈良・東生駒キャンパスで開催。期間中は毎日異なる企業約70社がブースに集まり、「学内合同企業説明会（参加企業紹介シート）」冊子がキャリアセンター窓口で配付されました。

▼11日
「色彩検定」で平成25年度優秀団体賞を受賞
帝塚山大学は本検定への取り組み、受験状況、ならびに試験結果について、厳正な審議による結果、優秀団体賞に選出され、賞状とカップが授与されました。

▼12日
新入生歓迎会を奈良・東生駒キャンパスで開催
学生会執行委員会が主催する新入生歓迎会が奈良・東生駒キャンパス体育館で行われ、多くの新入生が先輩達の演出するキャンパスライフのスタートを楽しんでいました。

▼26日
文化創造学科開設記念イベント「一緒に体験しませんか？地域で新しい文化を創ること」を開催

▼23日
2020年東京オリンピック・パラリンピック大学連携協定を締結

▼28日
ムジックフェストなら2014ジャズコンサートを開催
「帝塚山大学創立50周年記念カルメラライブ in 帝塚山大学」を奈良・東生駒キャンパスの体育館にて開催し、300名を超える方が来られ、会場は熱気に包まれました。



▼2日
ダイハツ 新型「コペン」が本学に登場！
奈良ダイハツ様と本学のコラボレーションの一環として、6月19日にリリースされた新型「コペン」が奈良・東生駒キャンパスに登場しました。



▼8日・22日
貴重書展示「谷崎潤一郎・耽美の世界」肉筆と稀覯本を中心に開催
創立50周年記念事業の一環として、奈良・東生駒キャンパス図書館で開催。16日には、本学文学部の中島一裕教授を講師とした公開講座「谷崎文学の展開」も実施しました。

▼26日
玉瀬耕治教授退職記念特別講義と記念パーティを開催
大阪上本町のホテルアウイーナ大阪で玉瀬教授の特別記念講義と記念パーティを開催。記念講演では、「発達カウンセリング・心理療法と「甘え」理論の統合」について、先生は長年の研究を通じて甘えと心理療法を見事に関係づけまとめあげられました。



▼9日
第28回管理栄養士国家試験で87名が合格、現役合格率は97・8%に

▼26日・27日
平成26年度帝塚山学園特別奨学金受給者の表彰式

▼3日
中京大学大学院心理学研究科と帝塚山大学大学院心理科学研究科との学術交流に関する覚書を締結

▼6日
新入留生歓迎異文化交流会を開催

▼6日
創立50周年・文化創造学科開設記念シンポジウムを開催
奈良・学園前キャンパス学園講堂において、帝塚山大学創立50周年・文化創造学科開設記念シンポジウムを開催

帝塚山大学公式イメージキャラクター「てじかっきー」誕生！



2014年に帝塚山大学が創立50周年を迎えるにあたり、新たな50年に歩み出す帝塚山大学にふさわしい公式イメージキャラクターを今年1月から2か月間にわたり、募集。本学の在学生・卒業生・教職員を対象に募集を行い、合計68件もの応募をいただきました。多数のご応募、本当にありがとうございました。選考委員会にて、今回の募集テーマである「帝塚山大学らしさがある」「帝塚山大学のPRができる」「多くの人から親しまれ、愛着が持たれる」というコンセプトに合致している作品を3点選出し、最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。最優秀作品に選ばれた「てじかっきー」は、奈良の名物「鹿」と「柿」をモチーフにしています。Tezukayama Universityの頭文字の「T」と「U」を象り、本学の「教養∞（無限大）」を表現した蝶ネクタイをつけています。「てじかっきー」の原案イラストを基に、一部ブラッシュアップを行い、帝塚山大学公式イメージキャラクター「てじかっきー」が誕生しました。今後、「てじかっきー」は帝塚山大学の広報活動で大活躍します。ご期待ください。

【最優秀賞】
「てじかっきー」
井上 智子さん作
(子ども学共同研究室職員)
【優秀賞】
「てづう君」
織田 悠花さん作
(現代生活学部食物栄養学科4年)
「てつぽっくりちゃん」
東芝 美樹さん作
(2012年度心理学科卒業生)



4月27日の「あかね祭」にて表彰式が行われました。(写真は表彰式での井上さん)

4月27日 あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました



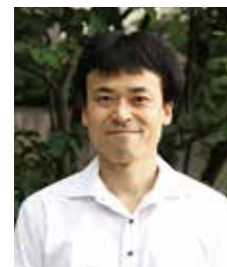
第8回あかね祭(新入生歓迎会)を奈良・学園前キャンパスにて開催しました。今年のテーマは「笑顔∞ with a smiling time ∞」。来場される方々が笑顔になってもらえるよう、あかね祭実行委員会は半年間かけて準備をしてきました。当日は好天にも恵まれ、新入生をはじめ、在学生や地域の方など、昨年度を上回る1700名超の来場者があり、たくさんの「笑顔」があふれる空間となりました。



職員紹介



松本 まどか
学生支援センター-教学支援課 (文学部・人文学部)
私は現在、教学支援課(文・人文学部)で、学生の皆さんの履修全般に関する業務を担当しています。実は、帝塚山大学で働くまでは主にサービス業に携わっていました。大学時代に英文科で学んだ英語運用能力はもちろんのこと、文章を読み、その時代背景や前後の文脈、単語の音など、いろんなことを考えて、作者がそこにこめた思いを汲み取る勉強が、接客の場面でも、相手の表情や声色、しぐさ、バックボーンなどから感情やニーズを読み取ることに繋がっていたと思います。学生の皆さんもこの大学生活の中でいろんなことに興味をもって学び、積極的に新しいことにチャレンジして、自分の可能性を広げてほしいと願っています。



垣内 英人
学生支援センター-教学支援課 (現代生活学部)
「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」という言葉は、試験、スポーツや就職等の様々な場面で活かせると思います。でも、なかなか自分自身を知ることは難しいものです。私は社会に出て10年以上経ちますが、社会は思っていたより曖昧な世界だと感じています。自分自身の現状の立ち位置を確認し、将来を考え、仕事や生活において様々な答えのないことを判断していかなくてはなりません。大学生活は社会に出るための準備期間です。様々なことを考え悩み想像してください。それが社会での力になると信じています。また、大学の様々な施設・部署で教職員に気軽に話してみてください。興味がある、悩みが解決できる「きっかけ」が見つかるかもしれません。

帝塚山大学創立50周年記念 第3回ホームカミングパーティ開催のお知らせ

平成26年11月24日(月・祝)に帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパスにて「第3回ホームカミングパーティ」を開催します。第3回の今年は、帝塚山大学創立50周年記念の一環としての開催となります。大学祭「虹色祭」開催中の母校で、懐かしの恩師・同窓生と一緒に学生時代にタイムスリップしませんか。同窓生のみならずお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。

第2回ホームカミングパーティの様子



Information from Learning Support Office 学習支援室からのお知らせ

奈良・学園前キャンパスに「学習支援室」がオープン!

奈良・学園前キャンパス16号館6階に「学習支援室」がオープンしました。

これまで学習支援室は奈良・東生駒キャンパスのみに設置されていましたが、このたび文部科学省に申請した取り組みが平成25年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に選定され、奈良・学園前キャンパスにおける同室の設置が実現しました。これにより、全学としての学生の自習支援および学修時間の確保と充実が期待されます。



2016年4月1日 帝塚山大学はキャンパス全面禁煙化

帝塚山大学は学生、教職員の健康に配慮したクリーンなキャンパスを目指し、2016年度からキャンパスの全面禁煙に取り組むことになりました。これまで奈良・学園前キャンパスのみ禁煙、奈良・東生駒キャンパスでは分煙でしたが、東生駒においても禁煙とすることで禁煙は大学全体の取り組みとなります。2014年5月31日、ホームページなどにおいて本学は岩井洋学長がキャンパスの禁煙を宣言しました。禁煙実施まで1年余、それまで様々な禁煙に関する取り組みを行う予定です。ご期待ください。

2014年度(後期)資格講座のご案内

8月～10月より開講予定の講座をご紹介します。

※各講座の詳細スケジュールなどは「資格取得講座ガイド2014」および「資格コーナーWebページ」をご参照ください。 ※スケジュールが変更になる場合があります。ご了承ください。

講座名	受講料 (テキスト代込)	応募 締め切り	キャンパス	講座開始日
Microsoft® Office Specialist (Word) (夏期集中)	¥21,000	8/9 (土) 17:00 まで	両キャンパス	8/19 (火)
Microsoft® Office Specialist (Excel) (夏期集中)	¥21,000		両キャンパス	9/1 (月)
TOEIC® 入門*1	¥10,000		両キャンパス	8/25 (月)
TOEIC® 基礎	¥23,000		両キャンパス	9/8 (月)
秘書検定(準1級)	¥25,200		両キャンパス	9/6 (土)
秘書検定(2級)	¥25,200		両キャンパス	奈良・東生駒:9/11 (木) 奈良・学園前:9/ 6 (土)
日商簿記検定(3級)	¥25,100		奈良・東生駒	8/26 (火)
販売士検定(2級)	¥34,600		奈良・東生駒	8/19 (火)
国内旅程管理主任者	¥40,000		奈良・東生駒	9/10 (水)
Illustrator® クリエイター能力認定検定試験	¥27,700		奈良・学園前	9/8 (月)
色彩検定® (2級)	¥32,000	奈良・学園前	9/6 (土)	
色彩検定® (3級)	¥25,100	奈良・学園前	9/13 (土)	
カラーコーディネーター検定試験® (3級)	¥30,200	奈良・学園前	9/13 (土)	
Microsoft® Office Specialist (Word) (後期講座)	¥21,000	9/22 (月) 17:00 まで	両キャンパス	奈良・東生駒:10/15 (水) 奈良・学園前:10/11 (土)
Microsoft® Office Specialist (Excel) (後期講座)	¥21,000		両キャンパス	奈良・東生駒:10/11 (土) 奈良・学園前:10/ 7 (火)
ニュース時事能力検定(準2級・2級)*2	¥14,300		奈良・東生駒	10/8 (水)
秘書検定(2級)	¥25,200	10/22 (水) 17:00 まで	両キャンパス	奈良・東生駒:11/12 (水) 奈良・学園前:11/15 (土)
販売士検定(3級)	¥25,100		奈良・東生駒	11/8 (土)
FP技能検定(3級)	¥32,500		奈良・東生駒	11/8 (土)
FP技能検定(2級)	¥33,500		奈良・東生駒	11/4 (火)
住宅ローンアドバイザー試験	¥27,500		奈良・東生駒	11/8 (土)
簿記検定(3級演習コース)*3	¥15,700		奈良・東生駒	1/10 (土)

*1 TOEIC®入門は、TOEIC®の模擬試験を含みます。
*2 本講座は準2級・2級に対応した内容を学習します。検定受験時に受験級をご自身で選択することができます。なお、準2級・2級の併願受験も可能です。
*3 演習コースは、ひととおり簿記3級の内容を学習された方を対象にしています。

申し込み方法

申し込みされる講座内容、および日程をご確認のうえ、以下の方法でお申し込みください。
※不明な点があれば、キャリアセンター資格コーナーにてお問合せください。

① 資格コーナーにてお申し込み

キャリアセンター資格コーナー窓口にて、手続き方法をご案内させていただきます。

開講が決定しましたら、料金のお支払い方法など、お申し込み時に登録いただいたメールアドレスへお送りします。

② Webサイトからお申し込み

専用のWebサイトからのお申し込みも可能です。
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/career/extension/toppage>→お申し込みフォーム
必要事項を専用フォームにご入力ください。

お申し込みいただいてから、資格コーナーより確認のご連絡がありますので、しばらくお待ちください。
開講が決定しましたら、料金のお支払い方法など、お申し込み時に登録いただいたメールアドレスへお送りします。

※8/12～8/18はキャリアセンターが開室となり、資格コーナーでのお申し込みができかねますのでご注意ください。
また、この期間は夏期休業期間となっております。ご連絡が遅れる場合がありますので、ご了承くださいませ。

申し込みにあたっての注意

- 一旦申し込み手続きをされた後は、理由の如何に関わらず受講料は返金できませんので、講座スケジュール等を確認してお申し込みください。
- 申し込み者数が最少開講人数に満たない場合は、不開講になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 申し込み者の連絡先等の個人情報については、厳重に管理いたします。

帝塚山大学 キャリアセンター資格取得担当窓口

奈良・東生駒キャンパス 9号館2F
Tel 0742-48-9708
shikaku-h@jimu.tezukayama-u.ac.jp
奈良・学園前キャンパス 16号館2F
Tel 0742-41-4751
shikaku-g@jimu.tezukayama-u.ac.jp

日本織物文化研究会設立20周年記念・帝塚山大学創立50周年記念 講座「正倉院の染織」要申込

日本織物文化研究会理事の尾形充彦氏による講座「正倉院の染織」を、第66回正倉院展の前後5回にわたって、帝塚山大学にて開催いたします。

第1回 9月28日(日) 14:00～15:30

演題 正倉院掛軸補室から始まった
正倉院事務所の染織品整理

第2回 10月12日(日) 14:00～15:30

演題 正倉院古裂整理の歴史

第3回 10月26日(日) 14:00～15:30

演題 特に優れた正倉院の染織

第4回 11月9日(日) 14:00～15:30

演題 正倉院染織の復元模造

第5回 11月23日(日) 14:00～15:30

演題 正倉院古裂に関する問題点と課題

講師：尾形 充彦氏(前正倉院事務所整理室長)
費用：一般 4,000円／学生(院生・研究生を含む) 2,000円
※全日程5回の資料代を含む 定員：90名(定員になり次第、締め切り)
会場：奈良・学園前キャンパス 18号館18311教室

【申込・お問合せ先】

往復ハガキでお申し込みください。(往復はがき1枚につき1名)
【往信面】①講座名：「正倉院の染織」②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤一般・学生の別
【返信面】①郵便番号・住所②氏名を明記の上、「〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3 帝塚山大学現代生活学部 織物研究室日本織物文化研究会」あてに郵送してください。

日本織物文化研究会事務局

Fax 0742-41-4749 ✉ weave81@tezukayama-u.ac.jp

Information from the Museum

博物館からのお知らせ

特別展示 「THE SHACHIHOKO ～鯨の歴史～」

本展では本年度、帝塚山大学に寄贈を受けた古瓦約3500点のうち、鯨(しゃちほこ)に焦点をあて、その歴史を解説します。鯨は海の水を一気に飲み干すとも言われる海魚で、建物を火災から守るために屋根にのせられました。また、鯨と同様、瓦葺建物の大棟を飾った鴟尾(しび)も展示します。

【期 間】 10月18日(土)～11月24日(月)

【開館時間】 9:30～16:30

【入 場 料】 無料

【休 館 日】 日曜・祝日

(ただし11/3(月)・11/23(日)・11/24(月)は開館。)

【展示解説】 15:45～(10/18(土)・10/25(土)・11/15(土)・11/22(土))

【お問合せ先】

帝塚山大学附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

Information from the Library

図書館からのお知らせ

本学メディアセンター(創立50周年記念式典・祝賀会等担当)チームによる「図書館所蔵資料の特別展示」が、昨春秋に大学玄関前にある「帝塚山大学歴史館」で開催されました。現在、歴史館には、大学開学から現在までの50年の歴史についてのパネル展示と奈良・東生駒キャンパスのジオラマ(縮尺600分の1)と共に常設展示されています。今年10月には50周年記念式典が開催されます。これに先がけて、期間を定めて奈良・東生駒キャンパス図書館2階の展示コーナー及びCキューブにおいて、図書館所蔵の貴重書展示、また、それに関する公開講座が7月に続き、11月にも開催される予定です。詳しくは今秋、大学HPでご案内致します。

August-December

INFORMATION & EVENT NEWS

お知らせ・
イベントニュース

夏季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、8月12日(火)～8月18日(月)まで、夏季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture

公開講座

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催 市民大学講座

申込不要 聴講無料

第332回 10月18日(土) 14:00～15:30

THE SHACHIHOKO ～鯨の歴史～

講師：清水 昭博(帝塚山大学)

第333回 10月25日(土) 14:00～15:30

仏教と神道 一瓦をめぐる日本宗教史一

講師：中牧 弘允氏(吹田市立博物館館長)

第334回 11月15日(土) 14:00～15:30

謎を秘めた左棧瓦

講師：甲斐 弓子氏(帝塚山学園史料室特別研究員／考古学研究所特別研究員)

第335回 11月29日(土) 14:00～15:30

中国の陶磁器(仮題)

講師：弓場 紀知氏(兵庫陶芸美術館副館長／檀原考古学研究所特別指導研究員)

会場：奈良・東生駒キャンパス5号館5104教室

【お問合せ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

考古学研究所：<http://www.tezukayama-u.ac.jp/arch>

✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

奈良学への招待XIII

「奈良の寺々と文化財」要申込 聴講無料

第1回 10月25日(土) 10:30～12:00

演題 正倉院展へのいざない 一今秋の出陳宝物にちなんで一

講師：杉崎 貴英(帝塚山大学文学部准教授)

第2回 11月1日(土) 10:30～12:00

演題 奈良時代の大安寺をめぐる人びと

講師：鷲森 浩幸(帝塚山大学奈良学総合文化研究所所長／帝塚山大学文学部教授)

第3回 11月15日(土) 10:30～12:00

演題 薬師寺の歴史と寺宝(仮題)

講師：戸花 亜利州氏(城陽市歴史民俗資料館学芸員)

第4回 11月22日(土) 10:30～12:00

演題 東大寺法華堂の平成大修理

講師：牟田口 章人(帝塚山大学文学部教授)

定員：各回100名 会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

※申込方法は、9月上旬ごろ大学HP等でお知らせ致します。

【お問合せ先】

帝塚山大学 奈良学総合文化研究所

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-8842 (月・水・金 9時～17時)



国際交流

新入留学生紹介

今回は、経営学部1年生のヤクポフ・イリギズ君を紹介します。

本学の留学生は9割以上が中国出身者ですが、彼は現在唯一のロシア出身学生。

1988年、旧ソビエトのキルギスタンに生まれ、中央ロシアのカザンで育ちました。国立ビシケク人文大学国際関係東洋学部で日本について学んだ後、2012年10月、京都府立日本語学校を経て今年4月に本学経営学部に入學。日本の印象など聞いてみました。

日本のどんなところに興味を持ちましたか？また、どんなことを学びたいですか？

桜の花を写真で見ても、その美しさに惹かれました。写真ではなく実物を見たくて。来日して桜吹雪を見ましたが、本当にきれい！また、映画



新入留学生歓迎会において、新入生代表として謝辞を述べるヤクボフ君



日本語、ロシア語、時には英語が入り交じる彼のノート

「將軍」で日本文化にも興味を持ちました。将来は貿易の仕事に就きたい。できれば日本で就職した後に帰国して、ロシアと日本の貿易に携わりたい。来日して2年目。日本の印象は？
驚いたことは治安の良さ。東京で友人が財布を落としましたが、1円もなくなくなることなく無事に戻ってきました。ロシアではありえません。それと技術力。新幹線はすごいと思います。技術に関する知識も身に付けたい。京都市内の学生向けワンルームに日本人や留学生と住んでいます。日本語を教えてくれたり、みんな親切です。大家さんは時折食事誘ってくださいます。アルバイト先のコンビニでも、お客さんから「がんばって！」と声をかけてもらうこともあります。生活面はとても快適！
人なつこい笑顔が印象的な彼。快適な生活は、彼の人が回りから愛されているからでしょう。サッカーや柔道もたしなむと聞いたので学内のサークルを覗いてみたら、と提案すると、目を輝かせていました。彼の行動範囲がまた少し、広がるかもしれません。

2015年度 帝塚山大学 ファミリー入試のご案内

— 来春、受験を控えたご子息ご息女をお持ちの保護者の皆様へ —

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「ファミリー入試」を実施しています。

「ファミリー入試」とは、帝塚山学園の建学の精神、学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を既に卒業された方、もしくは現在在学している方の2親等以内の親族（配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母）で、本学が定める基準を満たし高等学校を2014年4月1日から2015年3月31日までに卒業された方又は卒業見込みの方です。

出願の際に、「帝塚山ファミリー」であることの証明書（卒業証書の写し・卒業証明書等を添付）が必要になります。

詳しい出願資格や要件等に関して、必ず事前に入試課までお問合せください。オープンキャンパスにご参加のうえでお問合せいただくことも可能です。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

TEL 0742-48-9149(直通) FAX 0742-48-9021

nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

OPEN CAMPUS 2014

奈良・学園前キャンパス

8/10(日) 11:00 ~ 16:00

帝塚山の夏フェス

東生駒・学園前の両キャンパスで学科体験メニューを行います。帝塚山大学のごがスラスラとわかる夏の日。猛暑が予想されるため、熱中症対策を十分にお願します。

奈良・東生駒キャンパス

8/31(日) 11:00 ~ 16:00

体験・見学大充実

特集は「クラブ・サークル」

各学科の魅力「体験」と「見学ツアー」で発信！学びのこと、施設のこと、帝塚山大学のごがよくわかる内容です。さらに特別プログラムはクラブ・サークル大解剖！

奈良・東生駒キャンパス

9/23(火・祝) 13:00 ~ 16:00

予約不要・全学科対象

東生駒キャンパスの5学科におけるプレゼンテーションや、学園前キャンパスにバスで移動する見学ツアーなど受験校決定の上で最後に確認しておきたいことを、すべてチェックできるチャンスです！

もっと詳しく知りたい・日程が合わない人のOC

ミニオープンキャンパス

11/30(日)

奈良・学園前キャンパス 10:00 ~ 12:00
奈良・東生駒キャンパス 14:00 ~ 16:00

予約制 詳しくはホームページ(帝塚山大学入試情報サイト)をご覧ください。